



地域に生き世界に伸びる
Live Locally Grow Globally

大阪大学 職員採用案内



80th 原点へ 未来へ
OSAKA UNIVERSITY



大阪大学職員像

1. 大学の発展を担うマインドを持っている職員

- 阪大人として使命を自覚し、広い視野で大学全体を見渡して物事を考えます。
- 常に問題意識を持ち、主体的に業務に取り組みます。

2. コミュニケーションを大切にしている職員

- 常に学内外に目を向け、自ら積極的に社会や現場に足を運びます。
- 相手を思いやる気持ちを大切にし、組織として協調して業務に取り組みます。

3. 新しいことに積極的に取り組んでいる職員

- 前例にとらわれず、柔軟な発想で、まずはやってみます。
- 多様なニーズを正確に捉え、自ら進んで新たな課題に取り組みます。

4. 向上心を持っている職員

- 現状に満足することなく、常に目的意識を持って、自己研鑽に励みます。
- 幅広い知識を身につけ、賢明な社会人としての確かな判断力を養います。

～「大阪大学は、このような職員の努力を活かし、たゆまぬ改革に取り組みます」～

大阪大学は、江戸期に大坂の地に創設された「適塾」（1838年）を原点とし、さらに遡って大坂の五商人によって開設された「懐徳堂」（1724年）の精神を汲みつつ、学術と教育の機関として発展してきました。

大阪大学にとって、藩校ではない町民による町民のための二つの学問所を精神的な源流とすることは、創立の歴史的経緯を超えた深い意味を持っており、本学が市民に広く開かれた学問所であるとともに、世界トップレベルの教育研究活動を推進してきた原点にもなっています。

21世紀を迎えた今日、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、大阪が生んだあの自由な研鑽の場所を、ここ大阪大学に時代にふさわしい形で具現化させるために、わたしたちは「社会に開かれた学府」として、大阪大学をますます発展させなければなりません。

いま、大阪大学では構成員全員が力を合わせ、教育・研究から社会連携、大学運営まで、自他ともに認める、そして、全国の諸大学のモデルとなりうるような特色ある活動と運営のスタイル―「阪大スタイル」―を築いていこうとしています。

そのためには、皆さんのような情熱をもった方々の力が必要です。私たちとともに大阪大学の職員として、新しい大阪大学―「阪大ブランド」―をつくりあげてみませんか。



総長 鷺田清一



懐徳堂



適塾

大阪大学に採用後は、本部事務機構、大学院・学部、研究所、附属図書館、附属病院、海外拠点※ほか様々な部署で、業務を経験し、大学運営を支えていただきます。そして、将来的には大学全体の運営に関する企画や立案などの業務を担ってもらうことを期待しています。

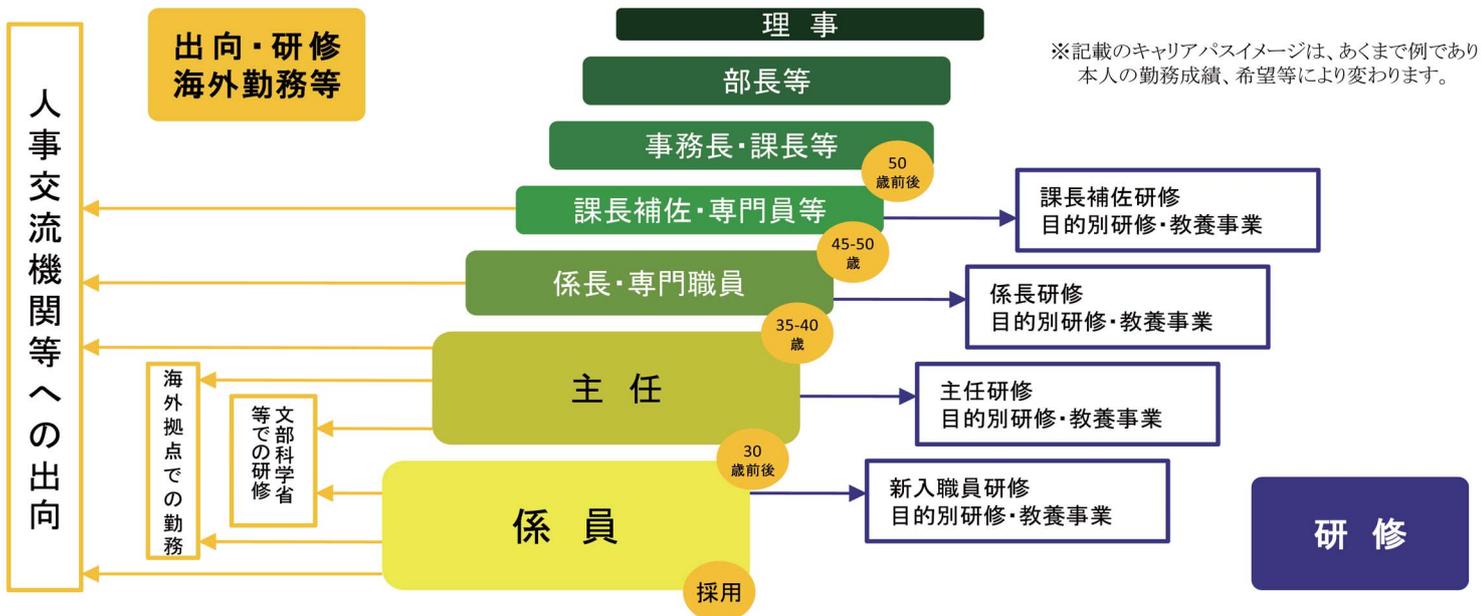
※海外拠点：サンフランシスコ（アメリカ）、グローニンゲン（オランダ）、バンコク（タイ）、上海（中国）

<p>研究推進・産学連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金等の競争的資金の申請 ・大型プロジェクト研究への支援 ・研究公正、研究倫理に関すること ・核燃料物質、放射性同位元素等の申請・届出 ・遺伝子組換え実験、動物実験の申請・届出 ・企業等との共同研究・受託研究等の外部資金の受入 ・知的財産の管理等 	<p>国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の大学、研究機関等との学術交流 ・外国人研究者の受入 ・留学生の受入・派遣 ・外国人留学生の奨学金及び宿舍 ・教職員の海外派遣 ・海外拠点本部に関すること ・英文研究年報等の発行 ・吹田留学生会館などの管理運営 ・国際連携関係資料の収集整備 	<p>学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退学・卒業等の学籍情報管理 ・カリキュラムの編成、履修手続き及び修学指導 ・成績の管理 ・教育実習、教育職員免許の手続き ・教育関連競争的資金の申請 ・授業評価や教育方法等の改善・充実 ・学生の生活指導・相談・福利厚生、健康管理 ・課外活動の支援 ・奨学金申請、入学科・授業料免除手続き ・学生宿舍の管理 ・就職指導・相談・インターンシップ ・学生募集及び入試広報 ・大学入試センター試験、個別学力試験の実施
<p>総務・企画・人事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務の総括及び連絡調整 ・各種会議・諸行事等の開催 ・規則・規程等の制定改廃 ・外部評価・自己点検評価に関すること ・情報公開・個人情報に関すること ・大学の情報発信及び広報活動 ・新たな人事制度の構築 ・給与・手当の決定 ・勤務時間等の管理 ・退職手当の決定、年金の請求 ・研修の企画・実施 ・教職員の福利厚生・労災関係 	<p>財務・会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の立案・要求・配分・管理 ・決算及び財務諸表の作成 ・会計諸規程の制定改廃 ・会計に関する監査・統計調査 ・資金の管理・運用 ・債権・債務の管理 ・入学科・授業料等の収入業務 ・給与・出張旅費等の支給及び税金の徴収 ・土地建物等の取得・管理 ・物品購入・委託業務・機器保守等の契約 ・基金の管理・運営 	<p>医事・病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の受診手続き ・入院患者の入退院手続き ・診療費の計算・徴収 ・診療報酬の請求手続き ・各種診療関係証明書の発行 ・診療情報の管理運営、情報開示 ・医療相談、医療訴訟 ・医療安全、医療事故対策 ・地域医療支援業務 ・公費負担医療業務 ・医療法等に基づく承認申請・届出 ・医療情報システムの運用管理 ・医事に関する各種統計調査
<p>図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書等の選定・発注・受入 ・図書等の目録作成・分類・製本 ・図書等の貸出・返却・配架・保管 ・図書館の広報（展示、利用案内等） ・学術文献の検索 ・他機関との図書等の相互利用業務 ・電子図書館の構想・構築・運用 ・電子ジャーナル等の刊行情報の調査及び利用 ・資料の電子化 ・学術情報の収集・調査 ・情報リテラシー教育の企画・実施 ・各種データベースサービスの利用 ・図書館に関する各種統計調査 	<p>施設系技術・教室系技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に係る企画立案及び調査 ・施設整備に係る予算の要求 ・建物、設備等の設計及び積算 ・建物、設備等の施工監理及び検査 ・工事の入札、契約及び監督 ・建物、設備等の維持保全 ・施設の有効活用に関する計画調整 ・省エネルギー対策 ・学生実験の準備、技術指導 ・実験機器装置の維持管理 ・データ解析、計測及び観測技術の開発、資料作成など 	<p>情報・企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の情報戦略に関する企画立案 ・事務情報化の推進・企画立案 ・事務業務系システム（人事給与、財務会計、学術情報等）の運用管理 ・事務情報管理系システム（メール、ファイル共有）の運用管理 ・学内ネットワークの運用管理 ・全国共同利用施設のシステム（スパコン・PCクラスター）運用管理 ・全学IT認証基盤システムの運用管理 ・学内情報教育用システムの運用管理 ・附属図書館用システムの運用管理

- 人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、学内を中心に概ね3年の期間をそのサイクルとしています。
- 近畿地区等の他機関との人事交流については、人材育成の観点から、学内状況を勘案し2～3年の間で交流を行っています。
- その他、文部科学省や日本学術振興会等において研修生として勤務することもあります。

本学からの主な出向機関	
大学	大阪教育大学 奈良先端科学技術大学院大学 奈良教育大学 奈良女子大学など
大学共同利用機関	国立民族学博物館 国際日本文化研究センター
その他	文部科学省（文化庁を含む） 大学評価・学位授与機構 日本学術振興会 国立大学協会 国立国際美術館 奈良国立博物館 放送大学学園など

大阪大学でのキャリアパス



人材育成プログラム

階層別研修
新入職員採用後及び主任、係長などへの昇任後、それぞれの業務目的に沿った研修を行っています。

目的別研修
事務情報化業務研修、産学連携・社学連携関係業務研修、国際関係業務研修（外国語研修を含む）、学生関係業務研修、人事事務研修、会計関係業務研修（法人簿記研修を含む）、病院関係業務研修、技術職員研修（学外技術研修事業を含む）、図書関係業務研修、評価者研修といった、業務目的に沿った研修を行っています。

支援事業
■ 資格取得支援事業（TOEIC受験支援を含む）
■ 自己啓発休職制度（現在試行中）

教養事業
■ 教育訓練給付金活用による教養研修
■ 教養研修（放送大学）
■ 教養研修（大阪大学）
■ 大学に関する諸課題についての研修

職員として大阪大学の授業科目を受講できるんですよ。
本学の授業科目を受講することにより、広い視野を持つ新しい教養及び専門知識を習得し、職員の識見、資質等の向上を図ることを目的として、平成21年度から実施されたもので、意欲ある職員が受講しています。

※教養事業及び支援事業は、勤務時間外に受講することを原則としています。



現在どのような仕事をしていますか？

- ①外部資金の受入から執行、予算管理
- ②各種検査対応
- ③二国間交流事業に係る研究交流経費の経理事務

外部資金のうち、主に受託研究の受入から執行、実績報告までの仕事を行っています。国立大学では法人化後、運営費交付金が年々削減され、外部資金の獲得がますます重要となっています。その外部資金の中でも、公的研究資金は研究規模や金額が大きく、委託元毎に厳しいルールが存在し、経費執行の際、苦勞することも多々あります。しかし、研究成果がメディアに登場したり、研究者が賞を受けたりすると、最先端の研究に携わっているという実感の湧く、やりがいのある仕事です。

大阪大学に採用になってから、これまでの感想

大学での仕事が、ここまで幅広いとは思っていませんでした。一言で「大学職員」と言っても、その職種は様々で、仕事内容も多岐に渡ることにもまず驚きました。配属される部署によって、様々な仕事を体験することができ、自分の可能性を試す機会や場所がいくつもある、魅力的な職場だと思います。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大阪大学では、多くの学生をはじめとし、教員、医療従事者、技術職員、事務職員など様々な人との連携により、仕事が成り立っています。その中で、目標としたい上司、助け合える同僚、そして新たな自分に必ず出会えると思います。

大学職員の仕事は、表には出ない地道な作業が必要なものも多いですが、一見些細に思える仕事にも、その一つ一つには重要な意味があり、すべて大阪大学の研究・教育の発展に繋がっています。

ぜひ、大阪大学で、自分にあったやりがいのある仕事を見つけ、力を発揮してください。

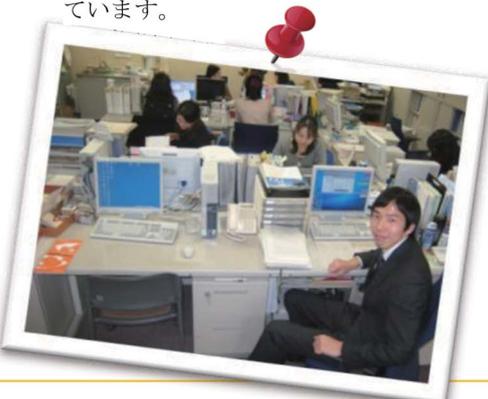
現在どのような仕事をしていますか？

- ①大阪大学の協定校との交換留学（受入れ・派遣）に関する業務
- ②短期海外研修プログラムの運営
- ③各種海外留学関連奨学金に関する事務

大阪大学は世界各国の大学と学術交流協定を締結しており（平成22年5月現在、大学間協定校79校・部局間協定校331校）、中でも、学生交流の覚書を交わしている協定校との間で、交換留学を盛んに行っています。現在の部署では、主にそうした海外の協定校からの交換留学生の受入れと、本学学生の協定校への派遣に関する業務を行っています。日常的に海外の大学関係者や留学生と接し、大阪大学が「世界に開かれた大学」であることを肌で感じながら仕事をしています。

休日はどのように過ごしていますか？

家でゆっくりしていることが多いですが、同期の仲間たちと遊ぶこともよくあります。他にも、阪大職員サッカー部（参加者募集中！）を作って活動しており、時には休日に大学のグラウンドに出かけて、一緒にサッカーを楽しんでいます。普段仕事で関わることの少ない部署の方や、教員、研究者、学生と、色々な方とのネットワークを作ることができる良い機会にもなっています。



大阪大学を目指す皆さんへ一言

私たち職員の仕事は、大阪大学が長い歴史の中で培ってきた「知」の力を最大限に活かし、社会に貢献できる人材を育て、新たな価値を生み出すための土壌を整えることです。仕事の内容は様々ですが、職員一人一人のアイデアや努力の積み重ねが、大学を成長させる原動力になるのです。

“Live Locally, Grow Globally”の理念のもと、大阪大学が地域から、そして世界から、より大きな信頼を受け、応援される大学となるために、私たちと一緒にチャレンジしてみたいという方、是非とも大阪大学の門を叩いてください！

研究協力・産学連携



平岡 智子さん
基礎工学研究科
研究協力係
平成18年4月採用



宮錦 智晴さん
国際部学生交流推進課
学生交流推進係
平成18年1月採用

国際交流

現在どのような仕事をしていますか？

- ①学生の課外活動に関する業務
- ②課外活動施設の管理運営に関する業務
- ③大阪大学育友会に関する業務

課外活動は、正課の教育と同様に大学教育において重要な役割を担うものであり、この課外活動を学生が円滑、適切に行えるようサポートしています。具体的には、130近くある大学公認団体に対する様々な支援業務や、課外活動施設の使用に関する業務等を行っております。毎日、多くの学生が手続きに訪れるので、窓口対応も日常業務の一つです。



大阪大学の職員として、今後の目標は？

近い目標としては、一人でも多くの学生の顔と名前を覚え、窓口対応時には学生を名前で呼び対応できるようになりたいと思います。また、現在の日常業務等を見直し、大阪大学としての学生に対するサービスの質を落とすことなく、業務の改善を目指したいと思います。将来的には、大阪大学に関わる全ての人が幸せに感じることができるよう業務に携わることができればよいなと思います。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大阪大学には、多くの学生や教職員だけでなく、様々な人が関わっています。時には、意見が合わず苦勞することもあります。その中で働くことは、とても刺激的であり、充実した日々を送ることができます。自分自身を成長させるチャンスもたくさんあります。ぜひ、大阪大学を目指していただくと嬉しいです。そして、将来、皆さんと一緒に働くことができる日をとても楽しみにしています。

学生支援



帯刀 咲子さん
 学生部学生支援課
 学生サービス第一係
 平成21年4月採用



下元 由宇さん
 歯学研究科総務課
 庶務係
 平成20年4月採用

現在どのような仕事をしていますか？

- ①歯学部附属病院における医療法関係の届出
- ②歯学部附属歯科技工士学校教務事務

歯学部附属病院は日本有数の歯科専門病院ですが、法令等に従い診療を行うために、新しいX線装置を設置する時や診療室の配置が変わる時などに届出をします。安全な医療を提供するためには多くの基準がありますので、クリアできるように全体を調整し、手続きが完了した時には大きな達成感が得られます。また、技工士学校の教務事務も担当しており、教務分野以外の係でありながら直接学生と関わる貴重な経験をさせていただいています。

大阪大学の職員として今後の目標は？

採用当時は本当に右も左も分からず、先輩職員や上司の方に色々なことを教えていただきました。ほぼ2年経ち、自分の担当する仕事の内容も理解し、少しずつ周りも見渡せるようになって来たと思いますが、知れば知るほど奥の深さや、さらなる広がりを感じ、まだまだ勉強が足りないと感じる反面、「面白さ」や「やりがい」を感じるようになってきました。

総務・企画・人事

休日はどのように過ごしていますか？

もともと家にいるよりも外出する方が好きなので、就職してからも、買い物に出かけたり、少し遠出して遊びに出かけることが多いです。ゆっくり休養することももちろん大切ですが、休日を目一杯楽しむことでリフレッシュできますし、楽しい休日が待っていることを考えることで、困難な課題に挑む活力にもなる気がします。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

私自身もそうでしたが、「大学職員って一体どんな仕事？」と疑問を抱く方も多いと思います。大学職員というと教務関係の仕事が真っ先に連想されるかもしれませんが、他にも数多くの分野があります。大阪大学は多くの課題を解決しながらさらなる発展を目指しており、達成するにはそれら多くの分野が最大限の力を発揮しつつ連携することが必要です。みなさんと共に働き、阪大の発展を実感できる日を楽しみにしています。





現在どのような仕事をしていますか？

- ① 外部機関との受託研究・共同研究などの契約に関する手続き
- ② 講演・指導助言に対する謝金の支払い手続き

大学が行っているのは教育活動だけではありません。研究活動も活発に行っており、大阪大学でも更なる活性化が不可欠です。受託研究では主に国等から、共同研究では主に企業から研究費を受入れて研究を遂行します。研究者が自らの研究をスムーズに進められるように、学内だけでなく相手方との調整も行い、研究費の受入れから研究成果の報告まで、関係する事務処理を担当しています。

大阪大学の職員として、今後の目標は？

担当する仕事は一言で言ってもその内容が非常に幅広く、常に新しい問題が出てくるので、勉強の毎日です。研究を主役とすると裏方の事務処理ですが、事務が止まれば大学が止まります。研究者からの問い合わせに即座に対応できるよう、総合的な幅広い知識を得ていきたいです。また、自分の仕事が最新の研究成果を生み出す一助になることが楽しみであり、長期的にも、大阪大学全体の研究活動が活発になるようなサポートを行っていききたいと思います。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大学職員＝学生との関わり、というイメージがあるかもしれませんが、それが大学の業務の全てではありません。むしろ学生と直接接する業務のほうが少なく、実際の大学の運営は見えないところで多くの職員が働いており、教員と両輪で多岐に渡る業務を支えています。近年、大学を取り巻く環境はめまぐるしく変化していますが、より良い大阪大学へ発展の一翼を担っていけるよう、幅広い分野での皆さんのアイデアと行動力に期待しています。

財務・会計



松尾 武宜さん
生命機能研究科
会計係
平成16年8月採用

現在どのような仕事をしていますか？

- ① 電子カルテシステム全般の障害対応
- ② 各サーバの動作確認
- ③ インターフェースの登録
- ④ 職員IDの登録・メンテナンス
- ⑤ 統計抽出など

病院で利用されている「電子カルテシステム」のソフト、またそれに付随する端末やプリンタ、スキャナなど周辺機器の障害対応全般が主な仕事です。また、職員IDの管理や診察を会計に反映させるためのインターフェースの設定など、医師、看護師、技師、事務の連携を助け能率良く仕事ができるように、またそれによって患者さんに気持ちよく病院を利用していただけるようにシステム部門からお手伝いすることが私たち情報処理係の仕事です。

大阪大学の職員として今後の目標は？

人と人との広いネットワークを持った職員になることが目標です。大阪大学で働き出して、まずあらゆることの規模の大きさに圧倒されました。大学内で動いているものは、人、モノ、お金、すべてが大規模で、それに関わる仕事も多岐に渡ります。大学病院のシステムも多数のメーカーやそこに所属する人々が関わって毎日稼働しています。そこで、ひとたび問題が起こったときに密に連携を取りすばやく対処できるように、日ごろから大学で働く様々な人と積極的に関わりコミュニケーションを大事にするよう心がけています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

今後の目標でも書かせていただきましたが、人とのつながりを大事にしてください。大阪大学は良い意味で馴染みやすい雰囲気のある職場だと思います。同期の仲間、同じ係の先輩方、職場に入ればすぐに多くの出会いがあります。採用後はもちろん先輩からたくさんのご指導を学び成長していくのですが、それと同じくらい、先輩もまた新しく入ってきた後輩に刺激され成長していくものだと思います。私も後輩たちとそんな関係をつくっていきたくと思っています。



櫻井 のぞみさん
医学部附属病院医事課
情報処理係
平成20年8月採用

情報推進・企画

現在どのような仕事をしていますか？

- ①診療費等の支払いに関わる業務
- ②未収金管理業務

私の仕事は基本的には患者さんからお金をいただくことです。ほとんどの場合は自動支払機でのお支払いですが、窓口でお金をいただいたり、振込の手続きをする場合もあります。

また、お支払いが滞っている患者さんに、督促状を送ったりもします。経済的な事情でお支払いできない方のお話を伺うこともあります。患者さんは、当たり前ですが、病気をお持ちの方です。そのような方から生活に無理のないよう、どのようにお支払いしていただくか、MSWの方や役所の方と相談する場合もあります。



医事・病院



生尾 優佳さん
医学部附属病院医事課
収入・債権管理係
平成18年4月採用

休日はどのように過ごしていますか？

オンとオフを分けた生活をおくることのできる職場だと思います。ですので、休日は趣味や好きなことをして過ごしています。外に出かけることも多く、特に連休になると旅行に出かけたりもします。

また、同期や先輩たちと遊びに行ったりご飯を食べに行ったりすることも多いです。他にも趣味の読書や舞台鑑賞に費やしたりしています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大学職員というと、自分が学生の頃にお世話になっていた教務や学生係の人の印象が強いと思います。もちろんそれらも大学職員の仕事ではありますが、大学には皆さんが思っている以上に様々な職種があり、いろいろなことにチャレンジ出来る職場だと思います。

やる気をもって、前向きに仕事に取り組める皆さん。皆さんと一緒に仕事が出来ることを楽しみにしています。



三木 保孝さん
附属図書館吹田地区
図書館サービス課
平成18年4月採用

現在どのような仕事をしていますか？

- ①閲覧（貸出・返却等の利用者対応など）
- ②資料管理
- ③参考調査
- ④利用者教育
- ⑤広報（利用案内等の広報物の作成やホームページ管理など）

附属図書館のひとつ、工学研究科を主なサービス対象とする理工学図書館に配属されています。そこで利用者サービスに関わること全般を担当しています。カウンター業務など一般的に想像されるような図書館の仕事に加えて、所蔵調査、情報リテラシー教育や広報に関する仕事などもしています。

大阪大学の職員として、今後の目標は？

大学、図書館をめぐる状況は大きく変化し、今後も変化していくと思われます。この先10年経っても、20年経っても、どのような環境にあっても常に自分を高めていく姿勢を忘れない職員でありたいと思います。また、大学全体を見渡すことができ、阪大が目指す方向に沿ったサービスを生みだしていける職員でもありたいです。



図書

大阪大学を目指す皆さんへ一言

率直に言います。少子化、運営費の削減、人員削減、大学の教育・研究などへの社会への貢献と説明責任など、大学をめぐる状況は厳しくなっています。とりわけ図書館は、インターネットの浸透、外国雑誌価格の高騰などもあり厳しい状況です。覚悟しておいてください。そんな逆境を栄養にして、やる気全開で道を切り開いていく猛者を歓迎します。

現在どのような仕事をしていますか？

- ①病院及び医学部改修の設計・積算・監理
- ②大型改修（病棟外壁改修など）の設計・積算・監理
- ③病院及び医学部の維持保全（小修繕対応など）
- ④病院内アメニティ（ポスター・案内表示等）の作製・管理
- ⑤施設関係会計事務（支払い関係等）

病院の施設にまつわる業務全般に加えて、一昨年度より医学部の営繕業務も担当する事になりました。診療部門や医局から依頼のあった院内等の小改修（間取りの変更や内装替等）の図面作製や積算等行っています。工事が決まったらその監理も行います。施設部発注の大型工事についても、病院の建物であれば施設係で担当しています。その他院内の案内表示やポスター作製・病院内の修理対応等、業務内容は多岐に渡っています。



施設系技術



佐古 理沙さん
医学部附属病院管理課
施設係
平成14年4月採用

休日はどのように過ごしていますか？

基本的に土日は休みなので、趣味のテニスを月に2、3回はやっています。また旅行が好きなので、車で日本全国各地を旅しています。昨年は日本100名城のうち50城以上を回ることができました。また野球観戦も大好きで、定時後も含めて昨年は40回以上の試合を観に行きました。家にいるときや移動中などは、TOEICやドイツ語の勉強をしたりしています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

『大学職員になろう！』という強い意思を持っている人もいれば、『何となく大学職員になりたい』という漠然とした動機の人もいると思いますが、阪大は仕事が多様で、どのような人であっても、この職場なら自分次第で必ずやりたいことが見つかると思います。楽しい事も辛いこともあると思いますが、周りの環境に合わせるのではなく、自分が職場環境を作り出すんだという気持ちで仕事に取り組みさえすれば、必ずそれを為し得る事ができる、阪大はそんな職場だと思います。



松岡 昌弘さん
工学研究科 技術部
応用化学専攻 元素分析室
平成20年4月採用

現在どのような仕事をしていますか？

- ①元素分析業務による研究支援
- ②元素分析室および分析装置の維持・管理
- ③分析業務に関する新たな分析手法の開発
- ④工学研究科内での技術部に関する業務

工学研究科内では様々な分析機器が研究に利用されており、元素分析装置もそのひとつです。私の主な仕事は元素分析装置を用いた分析業務です。常に安定した分析を行っていくには熟練が必要とされ、悪戦苦闘の日々ですが、それだけにやりがいがあります。分析業務以外では、よりよい分析手法の開発から分析料金の会計処理まで、幅広く業務を行っています。技術職員の業務内容は職場により異なり、様々な形で大学における教育、研究、安全指導に貢献しています。

大阪大学の職員として今後の目標は？

まずは分析依頼をいただいた際に、いつでも安定した分析業務が行える「一人前の分析者」になることが目標です。その上でよりよい分析手法の開発、技術部に関する業務等を通して工学研究科内だけでなく、大阪大学全体の発展に貢献していく職員になりたいです。また「技術職員」とはどのような仕事なのか、できるだけ多くの方に知っていただけるように情報発信にも努めていきます。



教室系技術

大阪大学を目指す皆さんへ一言

今就職活動をされている皆様にとって「教室系技術職員」という言葉だけを聞いても、どんな仕事なのか想像しづらいかもしれません。教室系技術職員の仕事内容は機器分析業務、機械工作業務や計測制御業務など多岐に及んでいます。技術部のホームページでは技術職員について詳しく紹介しておりますので、是非一度ご覧ください。

(工学研究科技術部ホームページ：<http://www.tech.eng.osaka-u.ac.jp>)

皆様と一緒に大阪大学で働くことが出来る日をお待ちしています。

育児休業制度



小林 真由美さん
平成16年8月採用

情報推進部情報企画課
総務係

本学の職員が安心して子育てができるよう、男性、女性にかわりなく、満3歳に達するまでの子を養育するため、育児休業を取得することができます。それが育児休業制度です。

育児休業制度を活用した感想は？

子供がいてもお仕事を続けたい、育児もじっくりしたいという欲張りな私ですが、最初から両立はできないと思い育児休業を取得致しました。おかげ様で、子供との生活をすんなりとスタートすることができ、我が子の日々の成長を見逃すことなく子育てができる幸せを実感しております。段々と子供がいる生活にも慣れ、両立に向けての自信も出てきました。また、人生設計に合わせて、社会復帰できる場所があるというのは、本当にありがたいです。

育児休業中の生活について

近所のママ友と、お散歩や、お茶、情報交換をしたりしています。また、主人や両方の親に手伝ってもらい、みんなで子育てをしています。お仕事をしていた時と起きる時間は変わりませんが、朝にお弁当作りから夕食の準備までするようになり、また、限られた時間でいかに家事を効率よくこなすか、常に段取りを考えるようになりました。パタパタと忙しいですが、我が子と遊んで大笑いし、しぐさや、笑顔、寝顔を見て癒される毎日を過ごしています。

職場復帰後の育児と仕事について

どちらも中途半端にならないように、全部に対して一生懸命でいたい。子供がいるから、お仕事をしているからという言い訳はしたくないです。大切な家族がいるから、お仕事も頑張れるというように、育児と仕事が良い相乗効果を発揮して欲しいです。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

妊娠中や、育児休業中も職場の皆様のご理解と温かい心遣いを感じ、大阪大学で働いていて良かったと思っています。また、育児と仕事を両立されている先輩が沢山おられます。そして、育児休業中も職員向けの情報を、自宅から学内と同じ条件で利用、閲覧できるようになっていますので、職場の情報から取り残されることのないように配慮もされています。大阪大学には、仕事と生活が調和するようなサポート体制、制度がありますので、安心して目指して下さい。



自己啓発休職制度

— 私は大阪大学で学ぶ、阪大職員です！ —

本学の職員が自主的に自己啓発のための活動を行い、より高い使命感と働きがいをもってその職務を遂行することができるよう、大学院への進学や海外留学等の自己啓発活動に関して、大学が試行的に実施している休職制度。それが自己啓発休職制度です。

自己啓発休職制度を希望した理由は？

家事・育児をしつつ、仕事も両立されている先輩方の姿を見ていて、現在、大阪大学では育児支援を含めた人事制度はどのようになっているのか、女性に限らず、全教職員にとって働きやすい職場にするには今後どうしていくべきか、といった点についての専門的な法知識を得たいと考えていたところ、自己啓発休職制度のことを知り、希望しました。

この制度を使って大学院で学んでいる感想はいかがですか？

大学院（法学研究科）では社会保障法、労働法を学んでいます。授業は基本的に少人数制なので、自分の意見を求められることが多く、最初は言葉に詰まっていた。しかし、先生をはじめ、社会人、学部からの進学者、留学生など様々な方の意見に触れることができたことで、考えも広がり、自分の意見も発せられるようになりました。



大阪大学の職員として今後の目標は？

2年間もの間、大学院にて勉強する機会を与えていただいたおかげで、職員のみならず、教員、学生と接する機会が増え、大学の改善点などにも気付くことができたように思います。このことにより得た経験や、大学院で学んだ専門的な法知識をできる限り、復帰後の職務に役立てたいと思っています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大阪大学では8千人を超える教職員が在籍しています。大学内だけでも大きな組織なのですが、それにとどまらず、仕事を通じて外部の業種を超えた様々な人と接する機会があり、視野を広げることができます。また、私のまわりには、結婚・出産後も仕事を継続されている方も多くおられます。そのような点に不安を抱いている女性の方々も是非、大阪大学を目指していただきたく思います。



栖川 わかのさん
平成17年8月採用

総務部人事課総務係

海外拠点勤務経験者



田中 知恵さん
平成15年10月採用

国際部学生交流推進課 学生交流推進係主任

サンフランシスコ教育研究センター勤務
(平成19年9月～平成21年7月)

サンフランシスコ教育研究センターでの業務と役割

- ①大阪大学の広報（国際会議・シンポジウム実施支援など）
大学・各部署が実施する国際会議等の実施支援や北米地域で開催される留学フェアなどに参加し、語学プログラムや留学に必要な諸情報を協定校の学生に広報・周知。
- ②学術交流促進支援
交換留学プログラムの説明や学術交流協定の交渉。
- ③遠隔講義の配信
アメリカで活躍する各界著名人や教授を招き、サンフランシスコセンターからテレビ会議システムを用いて阪大キャンパスへ遠隔講義を配信。
- ④語学研修支援
各部署が実施する研修プログラムの実施に至るまでを、米国に拠点がある利便性を活かし、現地にて企画・実施の支援を行う。
- ⑤大阪大学北米地区同窓会の運営サポート
同窓会事務局として年次総会など企画運営の支援およびアメリカ在住同窓生の方へ情報発信を行う。



大阪大学を目指す皆さんへ一言

大阪大学は2004年に国立大学法人に、そして、2007年10月に大阪外国語大学と統合。国立大学としては珍しい、外国語学部を有する大学となり、世界に通用する大学になるポテンシャルをより一層増した大学であると期待しています。これからの新しい大阪大学を担う企画・創造力そしてチャレンジ精神を持ち続けながら、なんとかあきらめず踏ん張れる人であれば、きっと、大阪大学と共に成長し続ける日々を送ることができると思います。



文部科学省等行政実務研修生



藤森 隆史さん
平成14年10月採用

文化庁長官官房政策課 総務係

現在どのような仕事をしていますか？

- ①事務の総括・連絡調整
現在は文部科学省行政実務研修生として、文化庁長官官房政策課総務係で、文化庁の事務の総括及び連絡調整を担当しています。具体的には、文部科学省や他省庁などからの各種通知関係を庁内に展開しています。また、毎週行われる庁内幹部会議や、政策課内の会議の準備を行っています。一口に事務の総括・連絡調整といっても業務は幅広く、様々な事に対応する必要がありますので、非常にいい経験になっています。
- ②栄典事務（叙勲・褒章・文化庁長官表彰・地域文化功労者文部科学大臣表彰など）
皆様も一度は新聞で見たことがあると思いますが、春秋の叙勲・褒章の上申書類の作成を担当しています。芸能分野から伝統技術の分野まで幅広い候補者の決定にあたっては、何度も内閣府と折衝を繰り返しますので、資料作成はとてもシビアですが、やりがいもあります。その他、文化庁長官表彰や地域文化功労者文部科学大臣表彰など様々な式典を担当しています。

大阪大学に採用になってからこれまでの感想

採用後、工学研究科・工学部総務課庶務係と医学部附属病院総務課職員係に配属されました。医学部附属病院総務課職員係では、主に非常勤の医師の方や看護職員の方の勤怠管理を行っていたのですが、難局も多々ありました。その中で係の上司をはじめ係内の仲間と助け合いながら取り組んだことは非常にいい経験になりました。大阪大学の事務職員は、「ここぞ」での連帯感があると思います。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

今、大学運営はまさに変革の最中にあります。その中で、大阪大学の職員の活気は大きな強みとなると思います。他大学間との競争や、予算が毎年減っていく状況などでシビアになっている面もありますが、ともに前向きに大学を盛り上げて、大阪大学の持つ智恵・技術を社会に還元し、貢献しましょう。



■ 初任給

(例) 大学卒業後、すぐに採用となった場合

一般職 (一) 1 級 2 5 号俸

172,200円 (基本給) + 20,664円 (地域手当) = 192,864円

初任給は、各人の経歴等によって決定されます。

■ 諸手当

通勤手当：公共交通機関利用者 使用額に応じ、月額 55,000円まで支給
自動車等利用者 使用距離に応じ、月額 24,500円まで支給

住居手当：借家 家賃額 (月12,000円以上) に応じ、27,000円まで支給

扶養手当：配偶者 13,000円
配偶者以外 1人当たり 6,500円
配偶者がいない場合 1人目 11,000円

期末・業績手当：6月と12月の年2回支給 (額はその期ごとに決定)

その他：超過勤務手当等

■ 昇給

各年の1月1日にそれ以前1年間の勤務成績に応じて昇給



勤務条件

■ 勤務時間

月曜日から金曜日 8時30分～17時15分 (1日8時間、週40時間勤務)

休憩時間 12時15分～13時

- ※ 窓口対応部署 (教務担当や病院医事担当等) などでは シフト勤務となる場合があります。
- ※ 業務上、必要がある場合には、勤務時間及び休憩時間の時間帯を変更することがあります。

■ 休日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始 (12月29日～1月3日)

■ 休暇

年次有給休暇 年20日付与 (4月採用の場合、その年は15日付与)
残日数は20日を限度として翌年に繰越可能
特別休暇 傷病、結婚、産前・産後、忌引、夏季休暇等 (有給)

■ 休業

育児休業 子が満3歳に達するまでの期間について取得可能
介護休業 介護を必要とする1人につき通算して93日の範囲内で取得可能
(対象家族：配偶者、父母、子、配偶者の父母等)

福利厚生

■ 健康保険・年金

健康保険、年金については、ともに文部科学省共済組合に加入します。
結婚手当金、出産費、病気やけがの療養費給付等の給付があります。

■ 共済事業

共済積立貯金、グループ保険、人間ドック受診費用の助成、スポーツクラブの利用助成、文部科学省共済組合宿泊施設利用補助、特別契約保養所、各種貸付等の制度があります。

学内保育施設（たけのこ保育園・まきば保育園）を設置し、教職員の仕事と育児の両立を支援しています。教職員、学生を側面からサポートすることにより、モチベーションが上がり仕事や勉強に専念できる環境が整うことにより、大阪大学の教育研究等の活動が活性化され、プラス効果を生み出すことが期待できます。

■ 保育日

月曜日～土曜日（年末年始12/29～1/3 及び国民の休日を除く）
土曜日は休日保育

■ 保育時間

開園時間：8：00～20：00

基本保育：8：00～18：00

延長保育：7：30～8：00（早朝保育）／18：00～20：00

一時保育：月曜日～金曜日 8：00～18：00

（原則として定員に空きがある場合のみ）

休日保育：土曜日 8：00～18：00

保育料金：乳幼児の年齢による



まきば保育園



たけのこ保育園

その他

■ 附属図書館

図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に備えた、教育研究のための図書館で、教職員として利用することができます。



附属図書館



■ 食堂・レストラン

生協の食堂のほか、リーガロイヤルホテル、千里阪急ホテル直営のレストランなど利用できます。



レストラン「ta・ku・mi」

■ 国立美術館・国立博物館のキャンパスメンバーズ

学生や教職員に文化や芸術、科学や歴史に親しむ機会を提供するために、美術館・博物館（京都国立近代美術館・国立国際美術館・京都国立博物館・奈良国立博物館）を職員証提示で無料観覧（平常展に限る）できる「キャンパスメンバーズ」に加入しています。

※国立博物館はゼミ等の引率教職員のみ無料。



阪大カフェ「カルチエ」

【大阪大学若手職員勉強会】

大阪大学の若手事務職員を中心に、業務における諸課題や、悩みの解決に向け、自発的に勉強会を開催しています。ここでは、大学組織に関する専門書を輪読したり、SD（スタッフ・デベロップメント）の研修を企画したりしています。月に2回のペースで主任から入職1年目の職員まで約20名で活動しています。



【近畿地区バレーボール大会】

年に1度、近畿地区の各大学（機関）が参加して行われるバレーボール大会にも参加し、他機関の職員とも交流を図っています。



【スポーツ】

学内のスポーツを愛する職員が、お昼休みに体育館やグラウンドなどで思い思いにテニス、ジョギングを楽しんでいます。

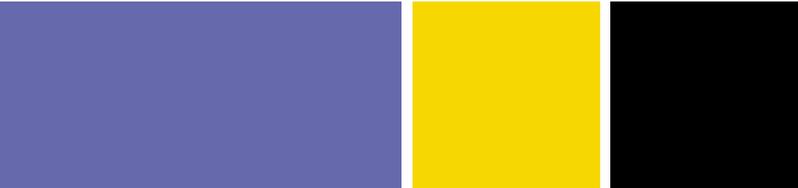
その他、休日やアフターファイブに野球やサッカーを愛する職員が集まり、市の大会に参加するなど職員間の交流を行っています。



【アンサンブル】

大阪大学の教職員・大学院生を中心に、音楽演奏の日常的活動を通し大阪大学の文化的基盤の醸成と大阪大学構成員間のコミュニケーション推進に微力を尽くすことを目的として、「大阪大学室内楽アンサンブル」を設立し、大学内における日常的な練習活動および大学行事等での定期的な演奏活動を目指しています。





平成22年7月
総務部人事課

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

TEL : 06-6879-7025

<http://www.osaka-u.ac.jp>